

一般社団法人日本ボクシング連盟臨時理事会 議事録

日時：(1日目)令和元年6月1(土)13:00~17:30

(2日目)令和元年6月2(日)10:00~12:30

場所：(1日目)岸記念体育会館4階会議室

(2日目)岸記念体育会館5階会議室

出席者：内田会長、鶴木副会長、菊池副会長、梅下専務、中島常務、浅村常務、
小山田常務、鈴木理事、門田理事、安川理事、仲間理事、佐藤(義)理事、
後藤理事(ス)、本理事、山口理事、吉沼理事、井崎理事、篠原理事、佐藤(秀)理事、
千田理事、稲田理事、西山理事、三宅理事(1日)、川上理事、岩井監事(1日)、
泉監事(26名)

事務局：富岡次長、及川氏

成立要件1日；理事24名出席／理事合計35名

2日；理事23名出席／理事合計35名

(内田会長挨拶) JOC、JSC、JSPO等と日本連盟との関係、立場を皆さんは知らないと思う。

これから何をしなければならないか、その対応の為に多くの理事を集めている。遠くの方は仕方がないが、その内容を深く理解してもらう為、今日の懇親会には多くの参加を願っている。

議長：鶴木副会長 議事録署名人：内田会長、泉監事、岩井監事 書記：鈴木理事、西山理事

第1号議案 来年度の国体リハーサル大会及び全日本選手権大会開催について

(菊池副会長) アスリート委員会の要請を受け、全日本選手権大会を中央で行い、国体のリハーサル大会には全日本社会人大会を開催する事とする。全日本選手権大会(男女)は2020年度から東京都墨田区体育館で実施する。墨田区ではレガシイとしてボクシング競技を応援したいとの申し出があった。

(本理事) 国体が隔年開催となった時は、日連開催となるが、場所を決める必要がある。

(菊池副会長) その場合は日連主催で開催となる。場所は今後提案する。

(吉沼理事) 墨田区体育館で継続するとなると、東京都の資金と負担が増えると思うので協力をお願いします。

(井崎理事) 都市部で開催すれば人が集まり、スポンサーも集まり易い。メディアの取材も可能であり、好意的に対応してくれるであろう。

承認；拍手多数

第2号議案 派遣選手等選考委員会設置の件

(菊池副会長) 内閣府又メディアから国際大会の選考基準が問われている。選考委員会を設置が事

を考えている。

(吉沼理事) 5/19の理事会で選考規程の設置が承認されている。任期は4年→2年にしては、

・強化委員会→選考委員会(強化委員会から2名参加・オブザーバー)→業務執行理事会とする。強化委員会が案を作成し選考委員会が選考し業務執行理事会が承認。

(菊池副会長) 選手が海外遠征により国内大会の予選に出場出来ない時は、救済措置が必要になる。

(吉沼理事) 国体出場規程に条文があるので、参考にすれば良い。

(岩井監事) 選考委員会の集まりはどの程度の頻度を考えているのか。

(本理事) オリンピック、アジア大会等で開催するのは良いが、その他の事前合宿、小規模の大会等で開催する必要はないと思う。

(内田会長) 選手の渡航費を全額負担しているNFはない。ボクシングぐらいだ。ボクシングは全階級に負担している。海外でメダルの可能性ある選手のみ日連負担にしてはどうか。

(佐藤義理事) メダル期待度でA、B、Cにランクを分け、全額、1/2~1/3補助、自費というのはどうか。

(吉沼理事) 強化委員会、選考委員会、業務執行理事会の線引きをしておいては。

(岩井監事) それは決めておいた方が良い。

選考委員会設置承認→拍手

(内田会長) 1、2回戦で負ける選手に旅費は出さない。メダルの取れない選手に旅費は出さない。

(山口理事) 選手のランク決めをしておけばよい。

(菊池副会長) 結果を求められる選手と経験を積ます必要のある選手がいる。

(梅下専務) JOCが関わるのは東アジア大会、アジア大会、オリンピック、世界選手権、ユニバシアードとなる。

(千田理事) 選考委員会が関わる大会はオリンピック、世界選手権、アジア大会クラスの大会。

(本理事) 東アジア大会はオリンピックと同じような大会。

(内田会長) 委員をきめましょう。ブロック理事9名を選考委員としましょう。

*但し、強化委員、業務執行委員と重複は出来ない。(第5条)

選考委員をブロック理事とする→承認

第3号議案 新理事候補選任の件

(菊池副会長) 内閣府より女性理事を全体の45%にするよう言われている。今迄の流れから考えて直ちにそうするのは難しい事だが、近づけてゆかなければならない。

(稲田理事) 樋山氏を理事候補に挙げて下さい。

(門田理事) 愛媛大教授で青井氏(女性)を推薦。

(西山理事) 伊田氏はこの会議の結果を見て推薦すると鳥取県理事長に聞いている。

(千田理事) 岩手県の上関氏を推薦する。

(本理事) 埼玉県の前田氏を推薦する。

(菊池副会長) 5名の枠に対して、今現在11名の名前が挙がっている。

(川上理事) 5名枠については、女性と外部理事が優先するということですか。

(菊池副会長) 次の総会で決定するが、その前の理事会で決議する事になる。

第4号議案 公認セカンドに関する規定改正の件

(吉沼理事) 無資格者と表現していたが今後はアシスタントセカンドと呼ぶ、日連登録者に限る。

(佐藤秀理事) リングエリア内、リング下で補助作業をする。

承認；拍手多数

第5号議案 書面による臨時総会開催の件

(吉沼理事) この規程は平成26年度の総会で決議されているのに、規程として条文が整理されていないままになっている。

・1号議案：報酬規程の改正 P21～22・2号議案：会員及び会費に関する規程の改正 P23～25
書面決議→承認

第6号議案 柴田賞規程の廃止の件

(吉沼理事) 基金について、金額がないものを設けているのはおかしいので、一括ここでゼロにし、規程をなくすればよいのでは。

(川上理事) 柴田基金は規程通り使われたかどうか、調べなくてはならないのでは。

(鶴木副会長) それは調べようがない。誰がどうやって調べるのか。

廃止→承認

第7号議案 競技用品販売店審査会規程の改正及び委員選任の件

(吉沼理事) 過去に杉スポーツの件があり、今までは大変であった。物品販売については正してゆかねばならない。

(富岡事務局次長) 内閣府の委員はボクシングを色眼鏡で見ている。現在は1つずつ解決している最中。

(内田会長) グローブについて入札制にしてはどうか。

(吉沼理事) 入札制度は競技用品については適用できるが、トロフィ等については難しい。

(内田会長) 全国で一致団結して取り組めば、安価に仕入れる事が出来るはず、規程を変えてゆくべき。団体で考えてゆかねばならない。

(安川理事) 業者からパンフレットを取り寄せ、値引きで買う事ができる。

規程(案)→承認

第8号議案 会員の処分の件

(菊池副会長) 元近大監督、鈴木康弘氏の処分につき、その手続きが取られていなかった。

本人の証言により処分を行っていた。証拠は口頭による証言のみであった。

連盟理事会で処分すべきか話し合いをしたい。大学に確認して、セクハラ行為はあった事を前提に話を進める。

(山口理事) 他の団体にこのような事例はあるか。

(富岡事務局次長) 別添付資料にJSPO公認スポーツ指導者処分基準があります。

(稲田理事) 処分をして、早く元に戻してあげる事が大事。処分はするが、次の道を開いてあげる。

(内田会長) 鈴木氏は十分に社会的制裁を受けていると思う。これから先は注意でも良いのでは。

嚴重注意を考えている。

嚴重注意→承認

(菊池副会長) 作新学院、川島氏の件があるが、倫理委員会の結論が出ていない為、現時点で日本連盟として処分の決定はしない方針。倫理委員会の決定を待って処分決定をする予定。その場合皆さんに報告をします。

上記の方法につき→承認

その他協議・報告事項

(1)～(5) 東京オリンピック決定と世界選手権について

(菊池副会長) 5/27 に東京オリンピック、ボクシング競技開催の決定が知らされ、今回座長を務める IOC 委員の渡辺守成氏から体操連盟を通じて問題点を挙げる事を要請された。これを受け、以下の提案をする。

- ① 階級；AIBA の発表した階級を参考に少し変更したものを提案している。
- ② 審判；AIBA の協力が得られれば問題はないが、協力が得られない場合は AIBA の審判資格を保持していなくても、優秀な審判はいるはず。その人達を参集する。
 - ・判定方法の見直；IOC が不正判定を重く受け止めている。減点法ではなく加点法を採用してはどうか。

(千田理事) かつて採用していた加点法にも問題はあった。総合点では勝っていても、ポイントでは負けている事例があった。

(山口理事) プロテストは行うのか。

(梅下専務) 行います。イエローカード；セカンド→審判→DS を考えている。

- ③ 予選について：P9の通り1月～5月にかけて予選を提案する。

(山口理事) 予選間隔は問題ないか。

(梅下専務) 問題ない。

- ④ グローブについて：現在使用されているアディダス製はクオリティが低く、拳が握りにくく、骨折の頻度が高い。日本のウイニング製を推薦する。
- ⑤ テストイベント
- ⑥ チケット販売
- ⑦ AIBA の影響について：今後も配慮しながら動向を見てゆく。

(梅下専務) 世界選手権の選手選考については、①強化委員会で決めて②選考委員会の承認を得て、業務執行理事会が決定する。6/13～16 に選考会を実施する。

57k g 級と 81k g 級は選手の力量が拮抗しているので、実際に対戦を行うが、これは競技では無いので、採点は公表しない。

52k g、64k g、69k g、75k g は別添資料の選手を強化委員会が推薦する。

- ・女子の選考は男子に習い行う。7/4～7 日を予定している。

上記の件(1)～(5)につき承認→拍手

(6) NTC の利用について

- ・選手よりも指導者の行為が良くない。フェンスを乗り越えたばこを吸ったり、施設内に酒を持

ち込み宴会をしている事例が見受けられる。ネット上で競技が賭けの対象に使われている事の事例。アンチドーピングにつき、他人を陥れる事案もあった。十分注意をするよう指導をうけた。今後 NTC 内で目に余る行為があれば、公表も考えていると知らされた。

(7) 令和 2 年 2 月の理事会・総会について

2020 年 2 月 1 日～2 日で臨時理事会を予定している。臨時総会については理事会から 2 週間後を目途に開催したい。通常総会は決算基準日から 3 カ月以内に開催すれば良いので、6 月開催を予定している。

開催日は事務局一任→承認

(8) JOC 選任コーチの構成について (9) 事務局の体制について 事務局から説明。

(10) バンテージの変更について

(梅下専務) ①現在は 3.5m 伸ばして 5.3m の伸縮性のものを使っている、4.3m 伸ばして 6.25m のものに変更を予定している。実施は 2 年後を考えている。

②バンテージの下にテーピングをする事を考えているが、その場合テーピングの検査をする必要があるか、確認したい。

(佐藤義理事) それにつき考えられる事が①手の動きを制御する事②グローブと手の空間を埋める事③バンテージが出来あがってから、その上をテーピングする。

(千田理事) バンテージチェックをするのは、異物の混入を防ぐためであり、相手選手を保護する為である。

(梅下専務) 今後、審判部等の関係部署と話し合いを持ち、来年の国体までには結論を出したい。

(11) プロからの質問事項に対する回答(案)について

(富岡事務局次長) プロ側から質問状を受けており、相当長期間私の手元にある。回答の素案を作成しているので見て頂きたい。

(中島常務理事) 移籍金について今直ぐには決められない。アマ側にも事情があるだろうから慎重に回答すべき。

(井崎理事) 名声を利用して金品を要求してはならないとあるが、シンボルアスリートの制度があり、それに指定されればオフィシャルパートナー企業の広告に出演が出来、多くの企業をスポンサーにする事が出来る。

(岩井監事) そもそもこのアマチュア規則はいつできたのか。せめて理事会・総会で議論して作られているのか。今後の扱いはどうするのか。4 条 6 項は前の理事会で削除したと思う。

(仲間理事) 今迄は今迄で、今後はどのようにするかを考えるべき。過去に遡って規程の変更をすべきでない。

(鶴木副会長) 話し合いをした覚えはなく、報告されて聞いた記憶がある。

(山口理事) 日本連盟にそんなお金が入金されたとの認識はない。

(千田理事) 前山根会長に入りそれを日連に入金したと聞いている。

(中島常務理事) 一括ではなく分割回答の方法もある。

(鶴木副会長) この件とゴールデンキッズボクシングは明日の議題とします。

内田会長から別件の提案があります。

(内田会長) 日連、プロボクシング協会、プロボクシングコミッションで協力しボクササイズの事業を

たちあげます。日連の医事委員会とスポーツ科学委員会でプログラムを作成して頂きます。内容は年齢・体重・身長・体脂肪率を基に5%ダイエットマニュアルを作成します。10級～5段までのランクを作り、会員の目標とします。関東で設備の揃っているプロジムが約120店あります。全国のアマジムの加えて約200店舗を利用しながら実施します。3年間で5万人の会員集めを目標としている。

3年間で登録人員3万人(5万人)×5万円×12カ月=180億円、そのうち25%の45億円がアマ側の取り分になります。開始は令和2年の1月を考えています。

入会会員はアマチュア登録をしてもらい最初は10級から始める。

プロジムは乗り気であり、1年位の調整で実施してゆく。アマチュアがマニュアルを作成する。

最初5千万円位の金がかかるが、何とかする。井上尚弥と村田諒太は宣伝に使って良いとのOKをプロ側からもらっている。広告宣伝はプロ側が行う。

(仲間理事) ある程度根拠のあるものを作らなければならない。

(山口理事) 私は臨床医であるので、健康療法の専門知識を持ったドクターを集めなければならない。その為にはお金がかかります。

(内田会長) 報酬は後からです。この事業のメリットは①ジムが存在している事②日連には医事の先生方が揃っている事。日本から世界へ発信し、世界に販売して自己財源を作らなければなりません。この事業に関して責任者を1名決める。プロコミッションがジムの教育をしてゆく。

・別会社を作りそこで行う。対象は一般人。オリンピック景気を利用する。サプリメント等次の対策も考えている。皆さんからいくらか集めて事業を立ち上げる。

オリンピックバブルがはじけているので、資金ができれば不動産投資をして利殖を行う現在利回り12%位。この事業は長くは続かないと思う。宣伝広告はプロが行う。

加盟料は無料です。

(井崎理事) ボクサーの怖いイメージ払拭はどうするか。プロジムは汚い・怖いイメージがある。

(内田会長) 一般家庭でやれる事を考えている。会員にインターネットで配信する。

(菊池副会長) 年齢制限なしのエアボクシングを考えている。車椅子の人もやれるようになる。

ここから6月2日(日)

(梅下専務) プロアマに関して保留箇所がある、そこは事務局の富岡次長と中島委員長で決めてやっていただいているかどうか。

(山口理事) 保留箇所があるが、その法的根拠があればお示し頂きたい。移籍金についても選手を育ててきた連盟に残す方が良いと思う。

(内田会長) 私個人の考えでは村田選手の例は残した方が良いと思う。プロにスカウトされて行っても、結果がでなければ使い捨てのように扱われる。国際大会に出場した選手について、プロジムに金額を提示してもらって日連が間に入って交渉する。移籍金を継続させ、選手の将来の保障にすれば良いと思う。

(佐藤義理事) プロ選手となるにあたり契約金は発生するのか。

(中島常務理事) 選手個人とプロジムの間で個々に行われている。この件について、アマ側で取り決めをした方が良い。

(内田会長) 入札制度を取り入れたらどうか。

(仲間理事) アマ側で制度を作り上げるという事ですか。選手には受けたい指導者がいる場合がある。

選択の自由を奪うのは良くない、職業選択の自由を奪う事になりはしないか。プロ転向をサポートするのが良いと思う。幼少期から練習をしたジムがあれば選手に説明をする。

(川上理事) 今まではアバウトな部分があった。アマが育成した選手につき、プロアマが共通認識を持って、まず日連に連絡をもらって内容を開示して頂き、選手・監督・日連に金の流れを作っておく事が必要。野球を参考にすれば良い。

(井崎理事) 野球はドラフト制度があるがプロアマが断絶している。サッカーはドラフト制度がなく、各チーム毎にやり方がある。例えば帝拳で練習していればそのまま帝拳でやりたいだろうから、サッカーを参考にした方が良いと思う。

(内田会長) プロは保障がなく切り捨ててします。自分が売り出したごとく宣伝するが、アマチュア出身者が多くアマチュアが作り上げた選手が活躍している。

(山口理事) 内田会長の発想は斬新である。前の川島会長はプロ転向をさせなかった。それは保障がないからだ。プロ転向を目指す選手には有効な手段と思う。

(内田会長) オリンピック等、ランク分けして行う。入札料は日連に入る。最終的には選手が選ぶ。

(千田理事) 職業選択の自由を生かしながら、選手のサポートをする。

(内田会長) 選手がケガをしたら、事務側が見る。約5年間は選手の面倒をみる等。方向性としてランクにより入札金を決める。

(井崎理事) プロジムと選手の話し合いに連盟が入り、エージェントが話し合いをするのが良い。

(中島常務理事) 今迄の入札案に参加するのは3~4程度のジムに限られる。入札制には反発が出ると思う。喧々諤々となる恐れがある。選手がプロジムと直接話し合いをもつのではなく、連盟を通した方が良い。

(鈴木理事) 国際大会のみに絞るのは範囲が広すぎる。本人の希望と条件が合わない選手がでる。アジアでメダル、世界選手権でメダルのように絞り込む事が必要。

(仲間理事) 冷静な大人が入るのであれば、少し広くしてもよいのではないか。

(佐藤秀理事) 高校教員の立場からいえば、金銭に捉われすぎない方が良いと思う。丁寧にやらないと、プロ側の反発を招く恐れがある。指導者が金を受け取る事に違和感を感じる。

(菊池副会長) 今の制度でも、ボクシングのイメージを使ってスポンサー契約を結べば30%が日連に入る。鬼倉選手が映画に出て、30%を日連が頂いた。サポート制度をどうするかだ。それは選手へ提案すれば良いのかなと思う。

(小山田常務理事) 駒大ではJリーガーが誕生するが、その都度金が入ってくるそうだが、サッカーの例は良いと思う。制度的なものとして金が発生するのは選手にとっても良い事と思う。

④ プロ転向時の取り扱いについて→国際大会出場のエリート選手が該当する場合は【移籍金】も含め日連が介入する事で承認

① 商業利用について

(内田会長) ポスター等に使う場合は、日連の許可制にする必要がある。

(西山理事) もし、許可なく勝手に宣伝した場合の罰則は必要か。

(内田会長) 必要です、3年間は利用できなくする事。

(菊池副会長) ツイッターを利用する場合は公私の分割が出来ないので、そこまではチェック出来ない。

(仲間理事) ツイッターでも宣伝目的のものであれば事前に見せて頂いて、内容をチェックさせて頂き、目に余るものは削除要請をする事が必要。

承認

② プロの興業へ参加について

(内田会長) 基本それは反対であるが、許可制で日連登録しているジムの興業であれば OK。

(吉沼理事) 登録とは日連か都道府県連盟のどちらかに登録していればよいのか。

(菊池副会長) アマルールでやるのであれば日連の審判派遣が必要になる。

(内田会長) 基本は日連登録。費用を持ってもらえればそれで良い。

(梅下専務) かつて 1997 年にやった経験がある。その時はアマとプロが完全に分かれてやった。

(門田理事) スパーリングをする場合にアマの審判他役員が参加して良いか。

(内田会長) 許可制にします。その場合は必ず日連に事前連絡下さい。

承認

③ スカウト行為について

(内田会長) 特待生で入っていた選手がプロに引き抜かれた時は大学側に発生する費用をプロ側で見てくださいと言う事です。大学によって待遇面に違いがあるので、其々に対応をお願いします。

(門田理事) 日連がからんでくるのは何時の時点か。

(内田会長) プロジム・プロコミッション・日連で協定書を交わす。

承認

④ 要 ID のアップ会場について→承認

(内田会長) 選手との信頼関係 (スカウト等でない) があることが前提だ。

⑥ 要望事項 (1)

(本理事) AIBA にそれに関する規程があるので参考にすれば良い。

ユニフォームは上記を参考に、ジャージは無制限

(井崎理事) 試合の時は AIBA に従うが、ジャージは自分たちで作れば良い。

(内田会長) 後でラインに画像を送りますから承認して下さい。

(佐藤秀理事) ジムで練習している選手が国体予選にジム名でエントリーするが、ジムの名前のユニフォームでよいか。

(仲間理事) スポンサーとユニフォームの話がごっちゃになっているので整理しましょう。

(吉沼理事) 所属先が警視庁であれば、警視庁からお金を頂くのか。

(千田理事) 所属企業は選手に給料を払っているのであって、その企業からお金はもらえない。

(吉沼理事) 社会人大会について、選手は所属企業を休んで参加しているのであり、それにお金を要求する事は難しい。

(佐藤義理事) 所属名称とコマーシャル名とは分けて考えましょう。

(内田会長) 所属名称であれば OK であり、それ以外のコマーシャルであればお金を頂く。

承認

⑦ 質問事項 (2)→承認

⑧ 承認

処分について

・福岡県

(菊池副会長) 既に厳重注意の処分を下しているが、福岡県ボクシング連盟から学校に強く抗議があり、当該先生は自分から学校をおやめになっている。

(安川理事) 登録後 8 ヶ月の規則は変更になっているのか。

(菊池副会長) その 8 ヶ月規則は通達で行われていたが、今後は実練習期間 6 カ月と表示している。

・栃木県

(菊池副会長) 川島弘行氏の処分は決まっていない。遡って資格停止を適用しますが宜しいか。

承認

川島八郎氏の件

(内田会長) 第三者委員会の報告を受け、学校側は処分をしました。これにつき日連は処分が必要か、理事→承認

(梅下専務) 戒告が妥当かと思う。

(菊池副会長) 戒告もやる事は厳重注意と同じだが厳しい。

(内田会長) 息子さんと同じ処分かどうか。資格停止処分。

(川上理事) 寛大な処分でのいいのでは。

(吉沼理事) 戒告処分が良いと思う。

(本理事) 穏便にすませたいが、期間が過ぎており学校に準ずる処分でのいいのでは。

厳重注意処分→承認

・選手選考規程の変更

(吉沼理事) 選考委員は選考会にはライン決議を準備してもらっていて、決議をお願いする。

審議する人を決めておかなければならない。

(仲間理事) 強化委員会が審議し選考委員会が承認する。

* 選考委員 (鶴木副会長、中島常務理事は除く) は 7 名である。法的に問題なければ、過半数の 4 名が OK であれば承認とする。

リングの販売について

事務局長・倫理委員会・強化委員会で話し合い。

2020 年全国総合体育大会について

(篠原理事) 規模を縮小して別添資料に基づき説明。

・リングの使用について、岩手県釜石市にガーミーのリングがないが、セノウのリングがある。
これを使ってよいか。

・8/17~22に開催となればミニ国体と重複すると思える。

(吉沼理事) AIBAはナショナルレベルのリングはAIBA指定のものを使う規定がある。

(本理事) 例外としてその国の事情で変更出来る規程があったと記憶している。

*今回は例外であり、AIBAに報告の必要はない。

セノウのリング使用→承認

(佐藤秀理事) 日連から百万円が開催県に支出されていたと思う。

(内田会長) 直近では、支出されていない。

(鶴木副会長) 川島会長の時には支出されていたとうわさがある。新潟インターハイから支出されなくなった。

(内田会長) その百万円の件は考えます。

(佐藤秀理事) 約3百万円不足しているが、全国からの負担金と岩手県にも頑張ってもらいたい。

(千田理事) 釜石市の中でも寄付につき協力がえられそう。

(川上理事) AIBAの規則にすべて準ずるのではなく、我が国の運用でやれるものはやれば良い。

ゴールデンキッズマスボクシング

(菊池副会長) 当日の健診は行うので、健康申告書を持参下さい。自動採点システムを使用する事について承認いただけるか。

(吉沼理事) 身長が自己申告になっている。ドクターの健診は必要。自動採点システムは日連が検証しているのかは問われる。東西地区大会でテストをしたいと申し出があり、見積書が出ている。内訳は機械使用料と人件費。

(内田会長) 各都道府県はマスボクシングをし。全国大会のみにこの機械を使う。

テストイベントについて日連はお金を出さない。8/24をテストと捉えている。

(中島常務理事) この競技の件は受けたが、この機械を使って勝敗に皆が納得するのか。親がその批評をする事になるが、文句が出た場合に抑える事ができるのか。

(後藤理事) 健康申告書の様式は今のままで宜しいか。

(山口理事) ボクシング競技とは違うので、同じ扱いではない。これからもんで結論をだしたい。

健康申告書も簡易なものになる。なるべく負担を減らして行くようにする。

自動採点マシン使用→承認

(西山理事) プロアマの件は何時頃どのような形で全国都道府県へ発信頂けますでしょうか。

(内田会長) 出来るだけ早くだが、今年度中は無理です。